

## プリンタードライバーの簡単インストール

### プリンタードライバーの種類

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

種類	説明
PCL	オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。PSドライバーよりも速く印刷できます。
PS	AdobeなどのPS対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。 グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。
FAX	紙に出力せず、コンピューターからの操作だけでファクスを送信できます。このドライバーの使い方については、[PC-FAX]をごらんください。

### 必要なシステム環境

プリンタードライバーを使うために必要なシステム環境は、次のとおりです。

項目	仕様
OS	Windows 8.1 * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard Windows Server 2016 Datacenter Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Datacenter Windows Server 2019 Standard * 32ビット (x86) /64ビット (x64) 環境に対応。
CPU	OSが推奨する環境以上
メモリー	OSが推奨するメモリー容量 OSおよび使用するアプリケーションに対して、メモリーの空き容量が十分であること。

最新対応OS は弊社ホームページよりご確認ください。  
(<http://www.muratec.jp/ce/support/driver/models.html>)

### プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、プリンタードライバーをインストールします。

- ✔ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✔ USB接続で使用する場合は、あらかじめ本機とコンピューターをUSBケーブルで接続します。新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

## 1. ドライバーのDVDをコンピューターのディスクドライブに挿入します。

- ➡ インストーラーが起動するのを確認し、手順2へ進みます。
- ➡ インストーラーが起動しない場合は、DVD内のドライバーのフォルダーを開いて[Setup.exe]（32ビット環境の場合）または[Setup64.exe]（64ビット環境の場合）をダブルクリックし、手順2へ進みます。
- ➡ [ユーザー アカウント制御]に関する画面が表示されるときは、[続行]または[はい]をクリックします。

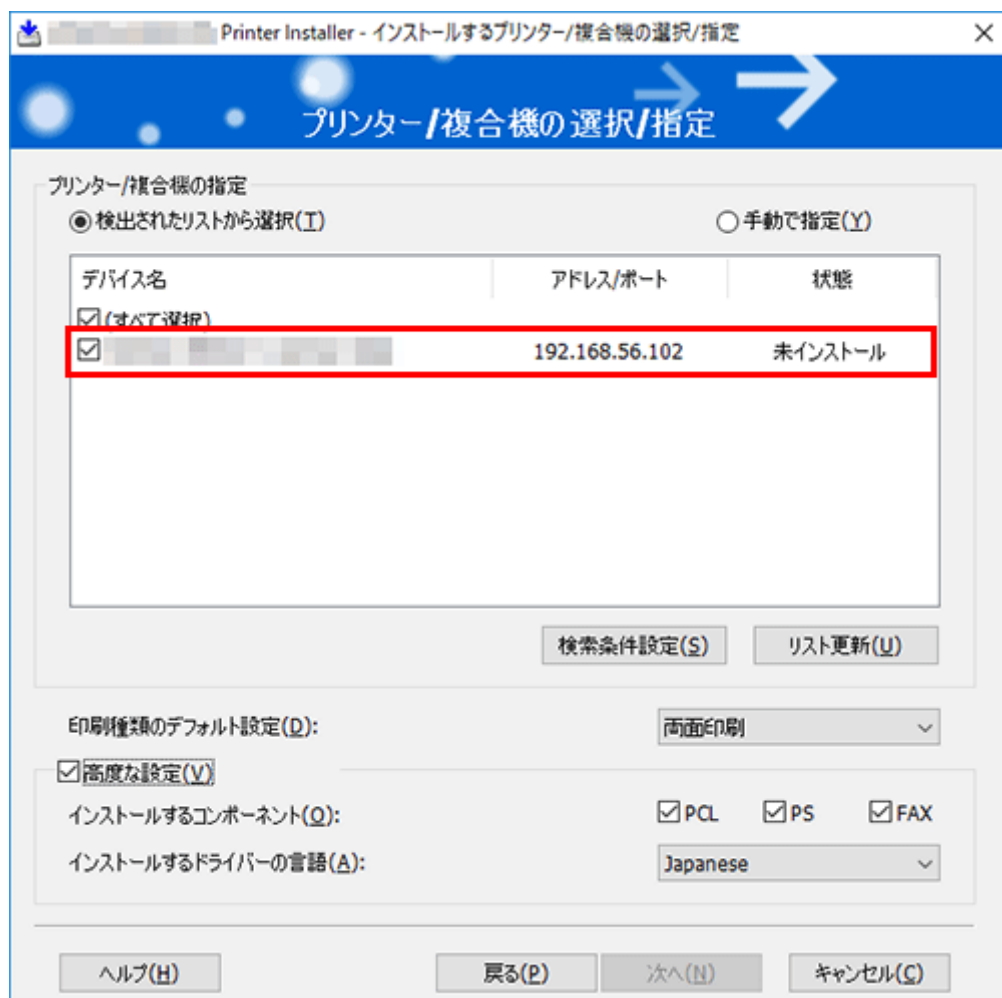
## 2. [使用許諾契約書に同意します]にチェックをつけます。

## 3. [セットアップ内容の選択]で[プリンターのインストール]を選び、[次へ]をクリックします。

接続されている装置が検出されます。

## 4. 検出された装置のリストから本機を選びます。

- ➡ 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。
- ➡ 接続されている装置のうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IPアドレスで確認してください。  
本機のIPアドレスは、[設定メニュー]-[装置情報表示]をタップして表示される画面で確認できます。
- ➡ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[手動で指定]を選び、手動で本機のIPアドレスや**ホスト名**を指定してください。
- ➡ 装置のIPアドレスに対応するポートがある場合は、事前にそのポートを削除してください。



## 5. 必要に応じて、印刷種類の初期値の設定と、インストールするドライバーの種類を設定します。

- ➡ インストールするドライバーの種類を設定する場合は、[高度な設定]にチェックをつけ、[インストールするコンポーネント]でインストールしたいドライバーにチェックをつけます。各ドライバーの特長については、[こちら](#)をごらんください。初期状態では、PCLドライバーがインストールされます。
- ➡ [印刷種類のデフォルト設定]で、両面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするか、または片面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするかを選択できます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。

## 6. [次へ]をクリックします。

## 7. インストール内容を確認し、[インストール]をクリックします。

## 8. 必要に応じて、表示名の変更やテストページの印刷を行い、[完了]をクリックします。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。詳しくは、 <a href="#">こちら</a> をごらんください。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。詳しくは、 <a href="#">こちら</a> をごらんください。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。

## 9. インストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定をします。

- ➡ プリンタードライバーの初期設定について詳しくは、[こちら](#)をごらんください。

### テスト印刷をする

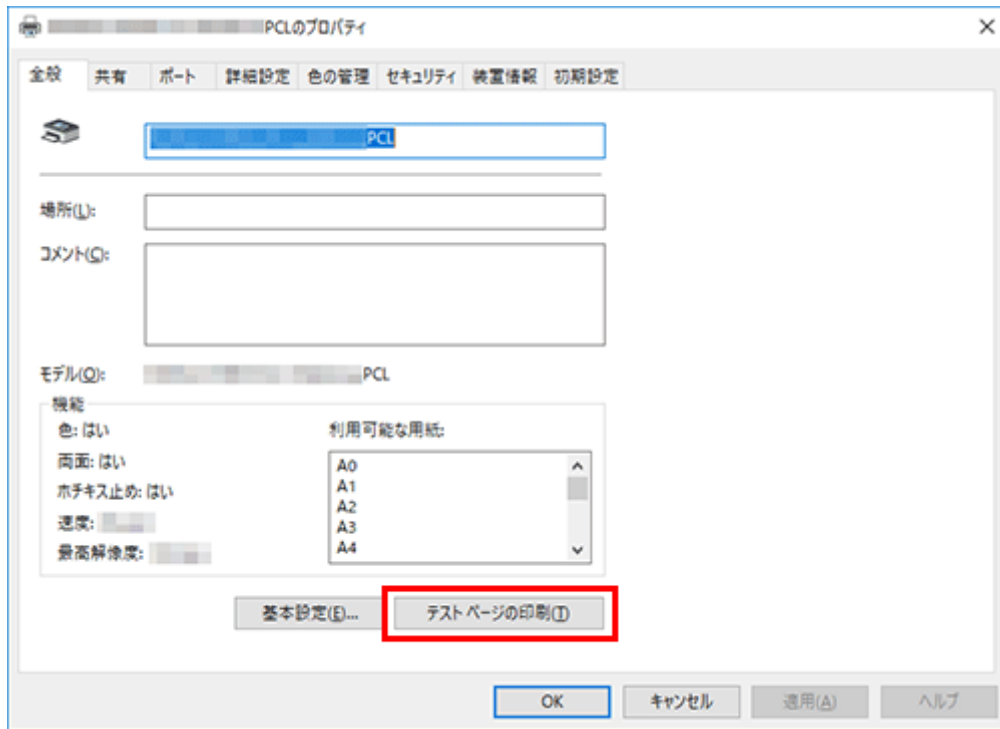
Windowsには、テスト印刷機能が搭載されています。テスト印刷を行い、正常に印刷できることを確認します。

### 1. [デバイスとプリンター]を表示します。

- ➡ [デバイスとプリンター]の表示のしかたについては、[こちら](#)をごらんください。

### 2. 本機のアイコンを右クリックして[プロパティ]（または[プリンターのプロパティ]）をクリックします。

### 3. [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。



4. 正しくテスト印刷できた場合は、[OK]をクリックします。

➡ テスト印刷できなかった場合は、[トラブルシューティング]をクリックし、問題を解決してください。